

目次

	頁
第 1 章 海岸管理の歴史的変遷	
1.1 海岸管理が萌芽するまで	1
1.1.1 縄文時代から近代までの海岸管理	1
1.1.2 近代の海岸管理	3
1.1.3 海岸管理の萌芽	22
1.2 終戦直後の海岸管理	34
1.3 海岸制度のはじまりー海岸法の成立	42
1.3.1 海岸法の成立まで	42
1.3.2 海岸法の成立	46
1.4 海岸法成立後の動き	60
1.4.1 海岸行政の展開	61
1.4.2 海岸事業の実施	64
1.4.3 海岸事業の変遷	73
1.4.4 海岸管理制度の変遷	87
第 2 章 海岸を取り巻く自然的状況の変化	
2.1 海岸情報による海岸線の変化	91
2.2 河川からの供給土砂量の変化	100
2.3 沿岸域の砂の流れの変化と砂浜確保の試み	111
2.3.1 沿岸漂砂の流れの変化	111
2.3.2 沿岸域の砂浜確保の試み	112
2.4 流域の水・物質循環の変化	129
2.4.1 流域の物質循環動態の変化	129
2.4.2 インパクトとレスポンスに関する分析	131
2.4.3 環境再生の基本的方向の検討	135
第 3 章 海岸制度を巡る新たな潮流	
3.1 環境意識の高まりと海岸環境の変化・輻輳する海岸利用	141
3.1.1 環境意識の高まり	141
3.1.2 海岸環境の変化	142
3.1.3 海岸利用の変化	155
3.1.4 海岸管理の平成初期における問題点	162
3.2 地方分権化推進の流れ	173
3.3 事業の透明性の確保の流れ	182

第4章	新しい海岸制度の確立に向けた実践と方向性	
4.1	抜本的な海岸法の改正	187
4.1.1	抜本的な海岸法改正の必要性	187
4.1.2	抜本的な海岸法の改正	193
4.1.3	改正された海岸法と河川法との比較	217
4.2	新しい海岸保全の基本的な考え方の実践	225
4.2.1	海岸保全基本方針	225
4.2.2	沿岸毎の海岸保全基本計画	234
4.3	新しい海岸保全のための事業と管理の実践	236
4.3.1	事業の実践	236
4.3.2	管理の実践	244
4.4	これからの海岸管理の方向性	246
4.4.1	今後の重要な視点	246
4.4.2	今後の海岸管理のあるべき姿	253
第5章	結論	271
	謝辞	273